

# ひょうごの土地改良



基幹農道 蔦沢菅野トンネル工事（宍粟市山崎町）【光都土地改良センター】

## 目次

1. 挨拶 水土里ネット兵庫 会長 西村康稔	2
2. 挨拶 兵庫県知事 井戸敏三	3
3. 農業農村整備の集い・第7回ひょうご水土里のふるさとフォーラム	4
4. 平成26年度土地改良区役職員研修会・平成26年度換地技術者育成・確保連絡会議	5
5. 土地改良換地士試験合格者発表	5
6. 淡山疏水、東播用水博物館の開館・淡山疏水世界遺産に登録	6
7. 2015年兵庫県横断リレーマラソン	6
8. 土地改良区めぐり	7
9. 主な会務の状況	8





## 新春を迎えて

水土里ネット兵庫（兵庫県土地改良事業団体連合会）

会長 西村 康 稔  
（衆議院議員）

平成 27 年の新春を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、平素から本会の運営に特段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力とご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、大雪、大雨、さらには噴火による痛ましい災害が起きました。被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、復旧に取り組む方々に心より敬意を表します。私自身、国土強靱化施策の推進に尽力してまいること改めてお誓いいたします。

さて、去る 1 月 9 日に平成 26 年度補正、同 14 日には平成 27 年度当初の予算案が閣議決定されました。農業農村整備事業については、平成 22 年度の予算の大幅削減以降厳しい状況が続いており、平成 24 年の政権交代以後回復を図ってまいりましたが、未だ削減前の水準には戻りきっていません。

このような状況の中で予算編成は、年末年始返上で行われました。党の会議が連日開催され議論を行いました。農業農村整備事業をはじめとする公共事業の予算要求は非常に厳しい状況でありました。

私が事務局長を務めさせて頂いている農村基盤整備議員連盟でも、「農業の競争力強化、国土強靱化、更には地方創生に資する農業農村整備の推進は現下の重要政策であり、予算を可及的速やかに大幅削減前の水準に戻すべき」とのご意見が多く所属議員から出され、財務省に実現を求める決議を行いました。

この結果、27 年度当初予算において公共事業全体が前年度同水準である中、農業農村整備関係予算は前年度より増額計上、更に非公共事業 100 億円を上積みし、補正予算と合わせ 3,781 億円を確保しました。

今後は、我々の思いを込めたこの予算により、各地域において事業を推進して頂き、更には地方創生につなげて頂きたいと考えております。

TPP 交渉や農協改革など、農業を巡る環境は新しい時代を迎えようとしています。そうした中で、農業が地域を支える産業として成長していくためには、農業の基盤整備が不可欠です。農家の皆さんのために、また、地域の活力維持、発展のため、本会におきましても、各地域において円滑に取組が進みますよう、会員の皆様とともに職員一丸となって努力してまいる所存です。

結びに、本年が皆様方にとってご健勝でご多幸でありますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

兵庫県土地改良事業団体連合会の西村康稔会長は、昨年末 内閣府副大臣に再任され、職務の兼職禁止規範に基づき、現在、休職中であります。そのため、会長職務代理を副会長の井上英俊氏にお願いをしています。



## ～安全安心と元気の創造～

兵庫県知事

井ノ敏三

新年あけましておめでとうございます。

今年は、阪神・淡路大震災から20年の節目を迎えます。未曾有の災害から得た経験と教訓を発信し続けるとともに、復興を成し遂げてきた兵庫の力を、未来に向かって、世界に向かって、一層力強く発揮する好機の年としようではありませんか。

昨年末、国政の新たな体制が固まりました。人口減少の克服や東京一極集中の是正など地方創生の動きの本格化に向けて、今こそ、地方が主導する国づくりを進めるべき時です。兵庫の多様性を生かし、個性ある地域の発展に全力を尽くしていきましょう。

第一は、安全安心の確保。

地震、津波対策のほか、昨年8月の豪雨災害を踏まえた風水害への備えを強化します。また、2025年問題を見据えた福祉・介護・医療の充実や、子どもや高齢者などの課題に対応して、地域社会での暮らしの安心を確保します。

第二は、活力ある地域経済。

グローバル市場でも存在感を示すオンリーワン企業の育成や、産業としての農業の振興、ブランド化を進めます。子育て環境の充実とあわせ、女性、若者、高齢者、障害者など多様な人材の社会参加を促し、人口減少社会の活性化をめざします。

第三は、地域の元気の創造。

山陰海岸ジオパークなど多彩な地域資源を活用した広域観光圏の形成や、交通ネットワーク等社会基盤の整備、淡路花博2015花みどりフェアの開催などにより、地域活性化と内外との交流拡大を図ります。

ふるさとへの愛着と20年間の復興の歩みを基礎に、柔軟な発想と地域主導の行動で直面する課題に挑み、兵庫の新時代を切り拓いていきましょう。

地震乗り越え 未来をめざす ふるさと兵庫 新しき創造



農業農村整備の集い

平成26年11月25日、砂防会館（東京都）において「農業農村整備の集い」が盛大に開催されました。

農業農村整備の関係者約700人、多数の国会議員が参集し、予算の復活を切実に訴える野中広務会長の開会挨拶を皮切りに、小泉農林水産副大臣の祝辞、三浦農村振興局長からの情勢報告、明石市の水土里ネット江井ヶ島 崎野理事長から「使う！活かす！守る！江井ヶ島ため池～都市近郊型ため池水辺作戦～」の発表などが行われた。

また、「国に対する9項目の要請」と「補正予算編成に係る緊急要請」について採択が行われ、参加者の満場一致の拍手で採択された。



第7回 ひょうご水土里のふるさとフォーラム

第7回ひょうご水土里のふるさとフォーラムが平成26年12月7日、震災20年の節目として、淡路夢舞台国際会議場で、兵庫県、兵庫県農地・水・環境保全推進協議会、水土里ネット兵庫の主催、サンテレビジョン、神戸新聞社等の後援で開催され、震災復興で他府県からの長期応援者（農業土木職）を含め、約3,000名の参加を得た。テーマは、「明日へつなごう!! ひょうごの水土里～地域ぐるみでの防災・減災～」。

女優で農政ジャーナリストの浜 美枝さんが「魅力ある地域づくりへー農・食・文化の継承」のテーマで基調講演。「ともに支え合い、災害から守る」と題したトークショーは、阪神・淡路大震災で炊き出しをしたボランティア団体の代表や仙台市の農家などが参加し、災害時の都市と農村の役割などについて意見が交わされた。



基調講演風景（浜 美枝氏）



## 平成26年度土地改良区役職員研修会

本会は平成26年11月21日・12月2・3日に、土地改良区役職員を対象とした研修会を、兵庫県土地改良会館及び豊岡市日高農村環境整備センターで開催し、250人の参加をいただきました。

研修内容は、近畿農政局土地改良管理課の赤井指導官・山田係長より「土地改良区の業務体制の強化について」、経営支援課の高橋係長より「地域農業の活性化や6次産業化に女性の能力を活かすために」、兵庫県農地整備課の河野主査より「土地改良区の統合整備について」、神戸市平野土地改良区 森岡常務より「土地改良区の合併について」を講義いただき、事務局より「農業基盤整備資金の活用について」説明し閉会した。



開会の挨拶 梶村常務理事

## 平成26年度換地技術者育成・確保連絡会議

平成26年1月22日・23日兵庫県土地改良会館で水土総合強化推進事業研修会を開催した。本研修会は、3ブロック（北陸・東海・近畿）の換地担当者が対象で、主催者は全国土地改良事業団体連合会。研修は、筑波大学の石川教授より「大区画化、農地集積の必要性について」、兵庫県農業経営課の姫野課長より「農地中間管理機構について」、農林水産省土地改良企画課の前田企画官より「行政不服審査法の一部改定について」をご講義いただいた。

## 平成26年度土地改良換地士資格試験合格者の発表

本年度土地改良換地士の合格発表が平成26年11月18日に行われた。

県内からは、兵庫県の藤尾課長補佐、水土里ネット兵庫の植田主査の2人が7.6倍の競争率のなか、見事に合格されました。

誠におめでとうございます。

氏名	所属・役職
藤尾 和子	兵庫県 姫路土地改良センター 課長補佐
植田 朋三	兵庫県土地改良事業団体連合会 地籍換地課 主査



植田主査 石井農地整備課長 藤尾課長補佐



## 淡山疏水・東播用水博物館の開館

東播磨を中心に農業用水や水道水を供給している淡河川・山田川疏水（淡山疏水）と東播用水の歴史を知ってもらおうと、稲美町野寺に「淡山疏水・東播用水博物館」がオープンし、平成27年1月23日、式典が開かれた。



行政や土地改良区の関係者ら約130人が開館を祝い、地元の小学生らが新装なった館内を見学し、サイフォンの仕組み等について説明を受けた。

## 淡山疏水世界遺産に登録

建設から100年以上たち、歴史的価値のある各国の水利施設を登録する「国際かんがい施設遺産」に、国内から淡山疏水（神戸市ほか）＝写真＝など9府県の9施設が選ばれた。専門家で作る国際かんがい排水委員会（ICID、本部インド・ニューデリー）で平成26年9月16日に登録された。

登録制度はICIDが本年度に創設し、今回が初の選定。農業の発展に貢献し、技術的にも優れた水路やせき、ため池などを保存するのが目的で、登録施設を核にした地域づくりも期待されている。



めがね橋（御坂サイフォン橋）

## 2015年兵庫県縦断リレーマラソン

阪神淡路大震災から20年を迎えるにあたり、県職員の力を結集し不死鳥兵庫県の魂を次の世代に伝えていくため、平成27年1月10、11日に豊岡から洲本までのリレーマラソンが行われた。

総勢80余名のランナーがタスキをつなぎ、各地で応援を受けながら無事完走。厳しい時代だからこそ「人のつながり」が力になることだろう。



ゴール地点（兵庫県洲本総合庁舎）

土地改良区めぐり

毎回県内の土地改良区を紹介するコーナーです。

とほら  
❖ 戸原土地改良区 ❖

1 土地改良区の概要

戸原地区は宍粟市山崎町南部、一級河川揖保川の左岸に位置し、清流揖保川の水を戸原頭首工から取水して営農しています。川戸・宇原・下宇原の3集落にまたがり、その名を1文字ずつとり、戸原土地改良区と命名され、昭和40年8月28日に設立。

現在、地区面積82ha、組合員数は229人となっています。



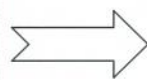
戸原土地改良区  
理事長 南光 正和

2 ほ場整備の実施【**児孫のために美田を残す！**】

山崎町営農村活性化住環境整備事業 川戸地区(H8～H14)及び県営経営体育成基盤整備事業 宇原地区(H21～H25)のほ場整備 計58haを実施してきました。



宇原地区整備前(H21)



宇原地区整備後(H25)

3 総合治水の取組【**田んぼダムの積極的PR！**】

本土地改良区は、総合治水の流域対策として「田んぼダム」を積極的に実施し、またPRをおこなっています。下記の写真は平成26年6月に、地区内にある戸原小学校の児童66名(1年生～6年生)に田んぼダムの模型実験を見てもらい、その後、田んぼダムせき板に絵を描いてもらいコンテストをおこなった状況です。



模型実験デモ



田んぼダムせき板コンテスト

今後も頭首工をはじめとする土地改良施設の適切な維持管理をおこなうとともに、地域の安全・安心づくり、元気な地域づくり活動を積極的に展開してまいります。



主な会務の状況 (H26. 11. 1～12. 31)

月 日	内 容	場 所
11月 5日	平成26年度 土地改良換地士部会研修会	大阪府
11月 8日	東播用水 呑吐ダム探検	三木市
11月14日	兵庫県土地改良事業団体連合会 理事会 監事会・中間監査	兵庫県土地改良会館
11月21日	平成26年度土地改良区役職員研修会 (豊岡会場)	豊岡市
11月25日	農業農村整備の集い・予算要望活動	東京都
12月2日・3日	平成26年度 土地改良区役職員研修会 (神戸会場)	兵庫県土地改良会館
12月 6日	第12回 銀の馬車道ため池ウォーキング	福崎町
12月 7日	第7回ひょうご水土里のふるさとフォーラム	淡路市
12月 8日	平成26年度 兵庫県融資拡大連絡会議	兵庫県土地改良会館
12月16日	兵庫県農業集落排水事業連絡協議会総会	兵庫県土地改良会館
12月19日	平成26年度21世紀土地改良区創造運動大賞中央選考委員会 平成26年度 農業農村整備優良地区コンクール選定審査会	東京都

土地改良区等の組織運営面にも積極的に係わります。  
なんでもご相談ください。(相談日・毎週月曜日)



新しい農業農村を目指して

みどり  
「水」「土」「里」  
の未来を創造し働きます。

「水」……農業用水や地域用水  
「土」……土地や農地  
「里」……農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間



水土里ネット兵庫
兵庫県土地改良事業団体連合会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-5-12 兵庫県土地改良会館  
TEL 078-341-0500 FAX 078-341-0507  
<http://www.hdrnet.or.jp/>